

I. 令和4年度第2回振興会議への対応について(1)

| 対象事業 | 委員名 | いただいたご意見について | 対応状況 |
|----------|-------|---|---|
| 人材確保について | 金崎委員 | 外国人材の雇用後の相談先に困っている。 きめ細かく気軽に相談できる窓口があるとよい。 | 令和5年8月23日(水)にハローワーク松江との意見交換を実施。 ※詳細については、P.27別掲。 |
| | 湯野川委員 | 人材確保のノウハウを育てる部分（ホームページや動画を作る勉強会）への支援について検討を。 | 人材確保のための研修等にかかる費用については、人材育成・確保支援事業補助金による補助を引き続き実施。 |
| DX推進について | 井上委員 | 企業のDX化のニーズは多種多様。 市内企業のDX化を推進するためには、専門家やニーズ調査が必要。 | 専門家派遣事業としてIT活用アドバイザー制度を実施している。 ※R5年度3件利用あり。 RubyCityMATSUE2.0にて市内IT企業を対象にアンケートの実施、分析を行った。 DX推進に向け、製造業向けの聞き取りを実施予定。 |
| | 湯野川委員 | 社内IT人材の育成や情報交換の場が必要。 | |

I. 令和4年度第2回振興会議への対応について(2)

| 対象事業 | 委員名 | 指摘事項 | 対応状況 |
|---------------|------|---|--|
| 省エネ対策について | 金崎委員 | 電気代高騰の影響を多大に受けている。引き続き支援策を。 | 6月補正省エネ補助金で対応。 情報通信業の省エネ対策については、松江市商業・サービス業等エネルギーコスト削減対策支援事業及び、島根県飲食・商業・サービス業等エネルギーコスト削減対策緊急支援事業にて支援。 |
| | 内藤委員 | 古い設備が多く引き続き補助率の高い支援策を。 | |
| | 山中委員 | 電気代高騰の影響は、IT企業にも多大。デジタルインフラに対応した支援策について検討を。 | |
| 補助金支援制度全般について | 松崎委員 | 設備の納期が半年から一年以上かかるものについて、年度をまたいだ制度の在り方の検討を。 | 省エネ補助金については国費活用のため、年度内完了が条件となり対応不可。一方で通常の補助金については年度をまたいだ制度設計中。 |